

規則正しい生活で身に付く「力」!

中学時代、それは、人生で初めて自分の責任で自分の進路を選択する時期です。子どもたちは、自分なりに進路を考え、勉強を頑張らなければならないという思いとともに、心のどこかに絶えず不安を抱えています。

保護者にとっても、子どもに対する期待と不安が交錯する時期ではありますが、まずは、子どもの気持ちを受け止める姿勢を大切にしていきたいと思います。子どもの考えをしっかりと聞く機会をつくり、子どもの努力や過程を認めてあげること、厳しくも温かい励ましを積み重ねることこそが、子どもに意欲を持たせ、進路を切り開かせることにつながります。

そして、家庭学習は、自分の進路を自分の手でつかむためになくしてはならないものです。自分の将来に向かって毎日の地道な積み重ねとなる家庭学習の習慣を身につけることができる環境づくりとともに、子どもたちへの指導をよろしくお願いいたします。

進路確保

確かな学力

授業・家庭学習

正しい心・優しい心

基本的な生活習慣

家庭学習時間の目安(例)

校種	年齢	平日	休日	主な学習内容
幼稚園	3~5才	10分	10分	読み聞かせやふれあい遊びで学ぶ喜びを感じる。
小学校	1~2年	学年	60分	宿題、読書・音読、漢字・計算練習、日記
	3~4年	+	90分	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記
	5~6年	10分	2時間以上	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記、興味関心のある自主学習
中学校	1~2年	2時間以上	3時間以上	宿題、予習復習、自主学習の定着、定期テスト対策
	3年	3時間以上	4時間以上	宿題、予習復習、進路確保に向けた自主学習、定期テスト対策

学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起きをして、朝ごはんを食べる。
- テレビ、ゲーム、スマホは時間を決める。
- 同じ場所、同じ時間で習慣化する。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家族の一員として、手伝いをする。

家庭学習のポイント

- (1) 決まった時間・場所で毎日する。
- (2) 自分で計画を立ててする。
- (3) 集中する。(「ながら勉強」をしない。)
- (4) 正しい姿勢で机に向かう。
- (5) わからないときは教科書等で調べる。

自分を大切に、社会や学校のルールを大切に、周囲の人を大切にする心が学力向上につながります。また、家庭で勉強に取り組む環境づくりだけでなく、正しく生きること、優しく生きingことを教指導していくことも、確かな学力の定着につながります。お子さんが前向きで、夢に向かって充実した生活が送れるよう、温かく見守ってください。

校長先生から

本校では、1日にスマホやゲームに費やしている時間が県や市に比べて多いという結果が出ています。学校から帰って寝るまでの限られた時間の中で、ゲームやスマホに費やす時間が多くなると、学習と睡眠の時間が削られるのは当然かもしれません。

私が以前、心を打たれた言葉の1つに、「習慣は才能を超える」という言葉があります。私たち人がもともと持っている能力に大差はありません。それよりも日々の習慣の積み重ねがその人の才能や能力・人格を作っていくのです。「よい習慣」は子どもたちの夢を叶える「原動力」になります。子どもたちの未来のため、夢の実現のために、「よい習慣づくり」をよろしくお願いいたします。